

SPORTS 川 LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION

一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業 2018年度事業内容について

一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業は、4つのキーワード（夢・礎・広がり・力）を基にした活動に加え、2018年度からは、これまでの「東日本大震災復興支援事業」を「スポーツレガシー事業②・③」とし、東北被災地を対象とした2つの事業を実施していきます。

▼2018年度 スポーツレガシー事業内容

スポーツレガシー事業① **スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承**

「スポーツとは何か」「スポーツが後世に遺せるものは何か」について語り合い、実践する場を提供することを通じて、私たちひとりひとりがスポーツの本当の価値を理解し、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

【2018年度 実施予定プロジェクト】

- ダイヤモンドアスリートプログラム <スポーツの夢>（主催：日本陸上競技連盟 <https://www.jaaf.or.jp/diamond/>）
- EXCEEDチャレンジプログラム <スポーツの夢>（主催：一般社団法人日本実業団陸上競技連合）
- ランニングコースの整備、活性化 <スポーツの礎>（主催：一般財団法人東京マラソン財団）
- キッズアスレティクス×東京マラソンスタイル <スポーツの広がり>（主催：キッズアスレティクス・ジャパン）
- 車いす陸上チャレンジサポート <スポーツの広がり>（主催：一般社団法人ウィルチェアスリートクラブ ソシオ SOEJIMA）
- キッズ&ファミリピック（車いすスポーツ交流イベント） <スポーツの力>（主催：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会）



※イメージ

※写真は昨年の様子です。

スポーツレガシー事業② **被災地の小学生を対象にしたスポーツ活動『キッズアスレティクス×とうほくキャラバン』による復興支援**

昨年度、スポーツ大会の支援及び普及啓発を目的として、東京マラソンコース沿道（7区）を中心に実施していた『キッズアスレティクス・プログラム』の活動を東北被災地にも拡大し、今なお深刻な問題を抱えている方々をスポーツで応援します。

【2018年度 実施予定プロジェクト】

- キッズアスレティクス×とうほくキャラバン（岩手県宮古市/宮城県登米市/福島県南相馬市の3校実施予定） <スポーツの広がり>



※写真は昨年の「キッズアスレティクス×東京マラソンスタイル」の様子です。

スポーツレガシー事業③ **被災地の育英事業** <スポーツの力>

スポーツは困難に直面している人々、若者や子どもたちに勇気・希望、そして夢を与える力を持っています。スポーツイベント等を通して社会的課題解決への試みや、日本が元気になる環境づくりなどを支援していきます。東北をランニングの力で応援していきたい、と願う皆さん、ご支援よろしくお願いたします。

※一般財団法人東京マラソン財団としてお預かりした寄付金は、被災地3県の育英事業対象者（未成年）の人数比率により、『いわての学び希望基金』、『東日本大震災みやぎこども育英募金』、『東日本大震災ふくしまこども寄附金』へ分配します。

▼東京マラソン財団スポーツレガシー事業 チャリティアンバサダー

大島 めぐみさん／元女子マラソン日本代表



みなさまからの沢山の想いを、スポーツレガシー事業の活動を通じて、「スポーツの夢・礎・広がり・力」を様々な世代に繋げていきたい！と思います。応援よろしくお願い致します！！

M 高史さん／ものまねアスリート芸人



スポーツレガシー事業が「走る人」「支える人」「応援する人」の架け橋となり、スポーツを愛する全ての人々が心も体も元気にハッピーになれるような、笑顔の輪が広がっていくような、そんな活動を応援し続けていきたいです！

中村 優さん／タレント・ランナー



昨年も、アンバサダーとしてスポーツレガシー事業の様々な活動に参加し、レポートを書かせていただきました。未来の笑顔や感動に繋がる素晴らしい活動ばかりでした。今年も、スポーツを愛するひとりとして、笑顔で楽しく伝えていきたいです！

鹿野 淳さん／音楽ジャーナリスト



東京マラソンには世界中から様々な価値観や人種感、もしくは生き様を持った方々が集まります。そんな人たちと走り合うことで分かち合えること、分かち合えないけどだからこそ、その人や価値観を肯定できることを楽しみ合いたいし、その可能性を持ったすべての「走れる人」を応援したいです。

▼スポーツレガシー事業について

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの東京開催決定を契機にスポーツそのものが持つ力に対する期待や関心が高まる中、特にオリンピックを単なるスポーツイベントに終わらせることなく、いかに社会に長期的かつポジティブな影響を生み出していくことができるかどうか注目が集まっています。

このような環境下において、東京マラソン財団は、競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に、明るい未来につながる「レガシー」を遺していきたい、との想いで2014年6月より「スポーツレガシー事業」を実施しています。